

## このできものは皮膚ガン？

皮膚のできものは目立ちやすいため、みなさん自身で発見することが多く、その場合、良性か悪性かは気になるところです。今回は平成21年度相生市健康大学講座での講演内容の要旨をお届けします。

質問：皮膚ガンを疑う所見は？

回答：1) 大きさ：良性の場合は急に大きくはなりません。1-2ヶ月前から急に大きくなったような場合はガンの可能性があります。

2) 色調：均一でなく濃淡を生じます。

3) 出血を伴う場合も要注意です。

4) 形態：いびつで染み出しを伴います。

質問：ガンができやすい部位は？

回答：紫外線が原因となることが多い有棘細胞癌は顔面に好発します。

ホクロのガンといわれるメラノーマは足底や爪に好発します。

外陰部にできやすいパジェット病は部位的に受診が遅れがちです。

質問：転移をおこしやすい皮膚ガンは？

回答：メラノーマは転移をおこしやすいので要注意です。それに対して表皮の基底細胞のガンである基底細胞癌はあまり転移をおこしません。しかし悪性ですので放置するとガン細胞が増殖し潰瘍化してきます。

質問：治療は？

回答：早期に発見し、腫瘍を切除することが治療の基本です。最近では、免疫学の進歩によりガンを取りまく免疫環境についての研究が進んでいます。免疫療法についてのいくつかの試みがなされており将来的には有望な方法の一つです。

質問：皮膚ガンにならないためには？

回答：まずは紫外線に対する対策が必要です。実際、紫外線の多い地域では少ない地域より皮膚ガンの発症頻度が高いことが報告されています。ガン細胞を監視する腫瘍免疫力を高めるには日々の生活を楽しみストレスをためないことも重要です。

文責(森田秀樹)